



平成 27 年 2 月 25 日
 (一社) 全国漁業就業者確保育成センター
 担当：今野 (こんの)
 電話：03-5545-1617
 メール：info@ryoushi.jp

漁師になるための就業相談会

「漁業就業支援フェア 漁師の仕事！まるごとイベント」を開催

漁師になりたい若者も増加中。担い手不足解消へ向け、夢を叶える第一歩。

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区赤坂)は、漁業や漁師の魅力を知らせるとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取り組みの一環として、漁師になるための就業相談会「漁業就業支援フェア『漁師の仕事！まるごとイベント』」を、東京と福岡の2ヶ所で開催いたします。

ライフスタイルの多様化などにより、若い世代の働き方や暮らし方が変化する中、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。一方で、国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化も進行し、担い手が不足しています。こうした状況を解消するために、経験を問わず新たな担い手を求める漁協や漁業会社も増えています。この「漁業就業支援フェア」は、「漁師になりたい・興味がある」人と「新たな担い手を求める」漁協や漁業会社が出会う場です。この場での出会いがきっかけで、漁師になる夢を叶えるケースもあります。

また、漁業の仕事内容はあまり知られていないのも事実です。このフェアでは、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を漁協や漁業会社の担当者に直接聞くことができます。

このように、漁業就業支援フェアは、漁師を目指す人には第一歩を踏み出すチャンスの場であり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人には漁業就業に関する様々な情報を得る場です。自身の状況にあわせて、気軽に参加できるイベントです。

開催地	開催日時	会場	出展予定ブース数
福岡	3月14日(土) 12:30 から 16:00 受付開始 12:00/受付終了 15:30	福岡県中小企業振興センター 2階大ホール 福岡県福岡市博多区吉塚本町9番15号	25ブース
東京	3月21日(土) 12:30 から 16:00 受付開始 12:00/受付終了 15:30	ベルサール半蔵門 2階ホール 東京都千代田区麴町1-6-4	40ブース

*出展ブース数は変更になる場合があります。出展団体情報は順次「漁師.JP」で確認いただけます。

【参加方法・参加条件:2会場共通】

- ◇参加方法:漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。
- ◇参加条件:未経験者・家族連れ歓迎/参加費無料/事前の参加申し込み不要(当日会場へ来場ください)
/履歴書不要 /服装自由 /入退場自由
- ◇一般の方からのお問合せ先:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター
電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00(土・日・祝日除く)
- ◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>
- ◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

■「漁業就業支援フェア 2015」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果を基に、フェア終了後、出展団体の研修候補生に採用されるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について紹介する「ガイダンスコーナー」などを設けます。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスのも場であり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



漁業就業支援フェア 2015 ポスターカット

■注目集める「漁業就業支援フェア」

昨年は、4都市で合計8回の「漁業就業支援フェア 2014」を開催し、合計1,725人の来場者がありました。直近の12月開催(大阪・東京)にも約500の方が来場し、熱心に情報収集をする姿が見られるなど、漁業就業への関心の高さを証明する結果となりました。

(参考)漁業就業支援フェア 2014(12月開催)の実績

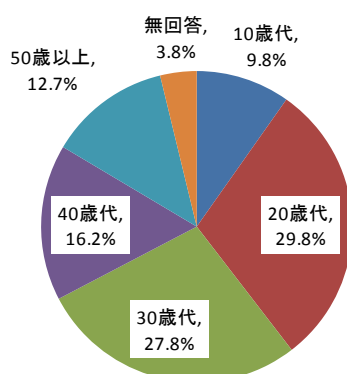
会場	大阪	東京
場所	12月13日(土)	12月20日(土)
開催日	OMMビル Aホール	東京国際フォーラム ホールB
出展団体数	39団体	43団体
来場者数 ※同伴者をのぞく	181人	309人



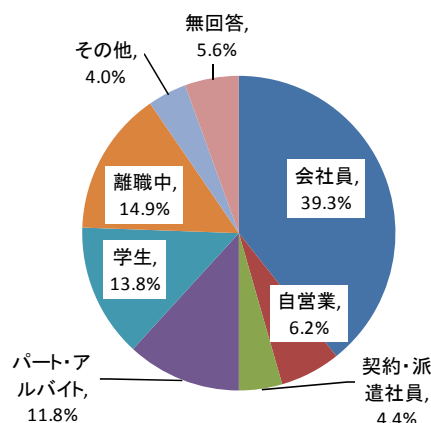
会場の面談風景

(参考)フェア来場者の属性(2014年12月 東京・大阪フェア来場者アンケートより)

【来場者の年齢層内訳】



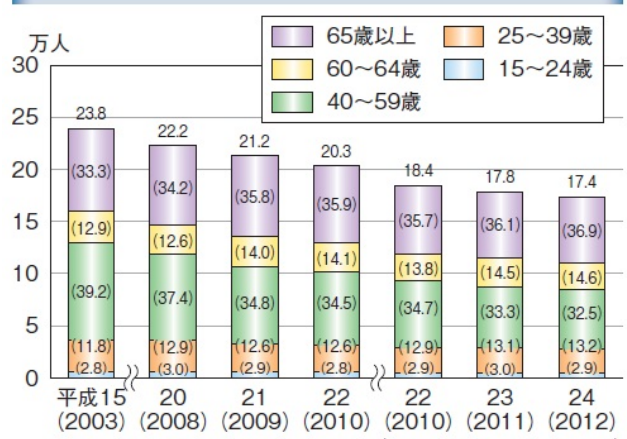
【来場者の職業内訳】



■漁業就業者数の動向

平成 15 年に約 24 万人であった漁業就業者数は、平成 24 年には約 17 万人(岩手・宮城・福島の 3 県を除く)へと減少、また、高齢化率 36.9%と高齢化が急速に進んでいます。一方、漁業への新規就業支援施策などにより、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師への転職を目指す若者が増えるなど平成 24 年には 1920 人が新たに就業しています。日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどが重要です。

漁業就業者数の推移



岩手・宮城・福島の3県を除く

資料：農林水産省「漁業センサス」(平成15(2003)年、平成20(2008)年)及び「漁業就業動向調査報告書」(平成21(2009)年～24(2012)年)

新規漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「農林水産業新規就業者調査結果」(平成14(2002)、15(2003)年)及び「漁業センサス」(20(2008)年)。平成16(2004)、21(2009)年～24(2012)年は都道府県が実施している新規就業者に関する調査から推計。平成17(2005)年～19(2007)年は(一社)大日本水産会による漁業協同組合へのアンケート調査結果

資料：平成 25 年度水産白書

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当:今野(この)

電話: 03-5545-1617(平日 10:00～17:00(土・日・祝日除く)) e-mail info@ryoushi.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushijp> 【twitter】@ryoushi_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。